

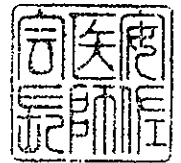
令和2年3月27日

広島市長 松井 一寛 様

一般社団法人 広島市医師会  
会長 松村 誠



一般社団法人 安佐医師会  
会長 吉川 正哉



一般社団法人 安芸地区医師会  
会長 白川 敏夫



#### 新型コロナウイルス感染症対策におけるマスクの不足について（要望）

春暖の候 貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、市域の各医師会の諸事業の推進について、格別の御高配と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、御承知のとおり新型コロナウイルス感染症のまん延が深刻度を増しており、政府の専門家会議は、海外で感染して国内に入ったと疑われる人の割合が感染者の約3割を占めるなど急増している点や、どこで感染したか不明な患者が増え、爆発的な感染拡大が起きる懸念があることを理由として、「まん延のおそれが高い」との認識を示したと聞いています。

また、こうした中で日本環境感染学会からは、診察の際に医師・看護師と患者がマスクを着けていれば低リスクの曝露であり、就業制限も不要であるとの指針が示されています。

市域の医師会といたしましては、このことを踏まえ、市民が直接訪れる医療現場でマスク不足など深刻な影響が出ており、診療への深刻な影響が懸念される状況であることから、まずはマスクの供給状況の把握のため、会員を対象にアンケート調査を行いました。

その結果（回収率 90.85%）は以下のとおりです。広島県は、備蓄するマスク計36万枚を県内の感染症指定等以外の一般病院・診療所に提供されましたが、依然として医療機関は強い危機感を抱いていることを示す数字となっています。

つきましては、院内感染対策に不可欠なマスクにつきまして、多くの医療機関で在庫が底を突きかけていることをよく御認識いただき、緊急に対応策を講じていただきますようお願いいたします。

市域医師会に所属する医療機関が一か月間に必要とする枚数	615,703枚
内訳 広島市医師会（696医療機関分）	373,818枚
安佐医師会（241医療機関分）	198,857枚
安芸地区医師会（46医療機関分）	43,028枚

## サージカルマスクの必要枚数の調査結果

(調査期間：3月18日～3月23日)

	対象医療機関数	回答医療機関数	必要枚数	回収率(%)
広島市	765	696	373,818	90.98
安佐	268	241	198,857	89.93
安芸地区	49	46	43,028	93.88
合計	1,082	983	615,703	90.85